

メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

平成 27 年 8 月号

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」
平成 27 年 8 月 1 日(第 124 号)

今年の夏の畑の様子をご覧ください。
たくさんのハーブに癒されています。



キウイフルーツ、大実レモン、プルーン等の
果物の収穫も楽しみです。

ジャガイモは収穫は終わりました。
バーベキュー大会でもたくさん頂きました。



バーベキュー大会(稲毛の浜)

7月10日(金)は、前日までの雨がウソのように晴れわたりました。荷物運び、火起こし、野菜切り等の準備をみんなでやりました。その後、3つのグループ分けを生まれ月で分けました。男性ばかりになったグループからブーイング。それでも段々とメンバー交代もしてきて、次第に男女仲良くおしゃべりに興じるグループがあちらこちらにできていました。冷やしたスイカがまた格別においしかったです。



雑感

私は障害をもつ児童のための学校に16年いました。障害をもつ子供たちのためにという、権利意識が強い教員が多かったです。例えば、教員が顔をたたく等の体罰があれば、その教員は教室から出され、「職員室で反省を」と言われていました。学校の主権者は障害を持つ児童や生徒であるという考えが中心にすわっていたのです。

様々な生徒がいました。友達の背中等を噛む、弱い友達をわからないようにいじめる、階段で後ろから突き飛ばす等、その他にもふざけて非常に危険な事をする児童、生徒もいました。それらのことから危険回避をするために、手が出てしまうこともありましたが、それが体罰とみられることもありました。その都度、その教員の指導方法について話し合いました。また、加害者・被害者の両保護者とじっくり話し合うと原因が浮かび上がってくることが多いことが少なくありませんでした。

児童、生徒への体罰は決して何の解決にもならないという事が断定できます。教員等の支援員が強くチームを組み、障害者施設等において体罰と思われる行為は決して許されるものではないと声を大にして訴えたいと思います。 糸日谷

川柳

精神科5分遅れて怒られる

いつもだよ2時間じっと待つ私

バーベキュー実習生もはしゃいでる

頼もしい明日の看護師見えてきた

ホントなの白衣の天使君らだけ

野球場試合観ずに花火見る

Hさんコピー機寄贈ありがとう

コピー機がこの7年のけやき知る